

# さきちゃんだより



発行 2012. 6 新庄河川事務所 立谷沢川砂防出張所

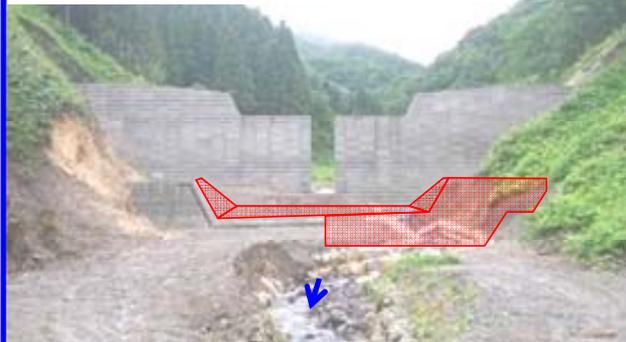
## 平成24年度最上川水系直轄砂防事業(立谷沢川流域)

土砂災害防止軽減のため砂防堰堤工事を実施しています

①東大沢砂防堰堤管理用道路工事  
建設中の砂防堰堤の管理用道路を施工  
佐藤建設(株) 3/29~12/17



②丑ノ沢砂防堰堤工事  
砂防堰堤の副堰堤を施工  
(株)カキザキ 3/9~1/9



◆工事の中には調査および用地協議継続中の所もあり、何とぞご協力お願いいたします

月山



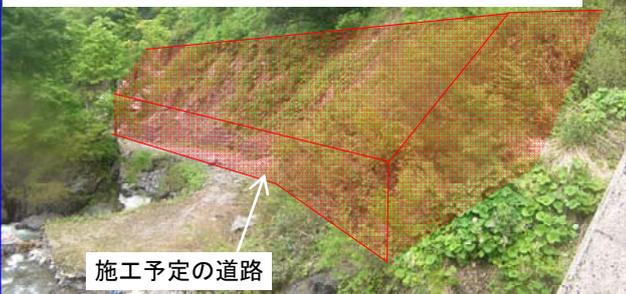
⑤濁沢地区流路護岸工事  
大規模崩壊斜面脚部の不安定化防止を目的とした護岸工を施工  
(株)柿崎工務所 3/29~11/22



④本沢第二砂防堰堤改築工事  
既設砂防堰堤の嵩上げを施工 升川建設(株) 3/16~12/27



⑥松沢第三砂防堰堤工事用道路工事  
砂防堰堤の工事用道路を今年度から新規着手  
(株)新庄砕石工業所 3/22~11/13



③科沢砂防堰堤工事  
砂防堰堤の主堰堤を施工 (株)柿崎工務所 3/17~12/11



施工予定の道路

# 濁沢川池ノ台地区における土砂崩落の経過

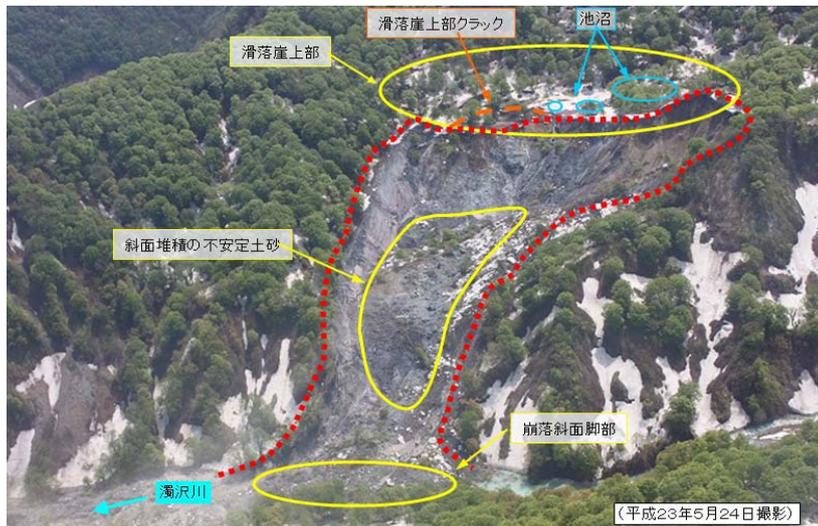
昨年5月22日に発生した深層崩壊では、崩壊斜面直下の護岸工整備、下流の既設砂防堰堤の除石工事などを行いました。

冬期間は積雪により現地への立入ができないため、CCTVカメラで崩壊地対岸からの斜面監視および積雪量計測にて監視を続けましたが、**現在のところ斜面に大きな変状はありません。**今年度も引き続き、下流域の安全度を高めるための工事を行います。

現地までの月山林道は、路肩欠損や

土砂崩落のため通行できない状況であるとともに、工事用大型車両が頻繁に通行するため、林野庁庄内森林管理署（林道管理者）との協議により今年度は**通行止め**です。

ご迷惑おかけしますが、ご協力お願いいたします。



## 《冬期間はCCTVカメラによる継続した監視を実施》

■平成24年1月下旬の現地状況



■平成24年3月上旬の現地状況



■平成24年5月上旬の現地状況



■平成24年6月上旬の現地状況



濁沢第6砂防堰堤上流右岸 積雪計グラフ



◆積雪計を設置してCCTVカメラで積雪量の観測を行いました。

積雪は7mを超え観測不能なほどの記録的豪雪は、3月にも7mを超えており6月ようやく雪解けとなりました。

# 第16回「安全施工技術」研究発表会 最優秀賞『立谷沢川流域濁沢地区整備工事』 ～(株)柿崎工務所 藤原泰典 現場代理人～



最優秀賞受賞の藤原泰典氏

2月22日、当事務所事故防止対策委員会と事故防止安全対策協議会主催により新庄市民プラザで開催されました。現場技術者の施工技術向上と労働災害未然防止を目的として行われ、今年は65題の応募のなかから『立谷沢川流域濁沢地区整備工事』が最優秀賞を受賞しました。また、山形県立新庄神室産業高校2年生12名を含む約200名が参加し、活発な質疑応答が交わされ大変有意義な意見交換の場となりました。

## 最優秀賞受賞者から喜びの声

## 《濁沢川緊急対策工事に携わって》

(株)柿崎工務所  
現場代理人  
藤原 泰典



この度のような大規模な土砂崩壊地の非常に厳しい条件の中で、無事に工事を完成させることができ、さらに、安全施工論文発表会では最優秀賞を頂くことができ、今でも夢を見ているのではないかと思います。喜びの気持ちでいっぱいです。

大崩壊発生後、初めて現場を自分の目で確認したときの光景は、今思い返しても非常に衝撃的で、自然の本当の怖さを痛感させられました。自分自身このような大規模な災害現場の施工は初めてであり、最初は多くの戸惑いを感じながら現場を進めていましたが、新庄河川事務所や出張所の方々、また、協力会社及び会社からのバックアップもあり、途中からは無我夢中に、ただ現場を完成させることだけを考えていました。

工事を無事に完成できたのも、本工事に携わった方々が一丸となり一つの目的の達成に向かうことができたからだと思います。この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

《濁沢川緊急対策工事は崩壊斜面直下で非常に危険なため、無人化施工で安全確保しながら工事を実施》



遠隔操作室で映像を見ながら重機を操作



無人の重機で走路を造成



無人の重機でブロックを設置

## 『合同工事安全祈願祭』

立谷沢川流域工事安全対策協議会主催により関係者25名で、今年度工事の「無事故・無災害」を祈願しました。

立谷沢川流域では、ようやく雪が解け工事現場への立入が可能となり、これから工事が本格稼働します。昨年度は「無事故・無災害」でしたので、今年度も安全第一で工事を進めて参ります。



南部山村広場にて  
5月31日開催

# 6月『土砂災害防止月間』 みんなで防ごう土砂災害！

最近の記録的豪雨により昨年は紀伊半島で天然ダム（河道閉塞）が発生しました。今年4～5月には大蔵村肘折地区で地すべりが発生し、さらに一時的に天然ダムが形成されるなど、私たちの身近なところで土砂災害が起きています。

今年は記録的な豪雪であったため融雪水による土砂災害発生可能性があります。梅雨や台風シーズンを前に「いざというとき」のため準備しておきましょう。

## ◆正しい情報を入力し、すばやく避難しましょう◆

土砂災害警戒情報はテレビだけでなくインターネットや携帯電話からも確認ができます。警報が発令されたら、早めに安全な場所に避難しましょう。

- ① 気象庁HP：「土砂災害警戒情報」  
<http://www.ima.go.jp/ip/dosha/>
- ② 「山形県河川砂防情報システム」HP  
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/>



③ 山形県河川砂防情報システム（携帯版）  
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/mobile/>



■ 天然ダムは、崩れた土砂が川をせきとめ上流側に水がダムのように溜まり、越流して水と土砂が一気に流れ出し下流域の家や田畑へ土石流被害をもたらします。  
■ 肘折地区の天然ダムは、下流域の土石流被害も懸念されましたが下流には堰堤が7基あるので、それ以上に上流側の温泉街の浸水被害が懸念されたことが特徴的な新しいタイプの土砂災害です。

## ◆事前に危険箇所・避難場所をチェックしましょう◆

自分の住んでいるところの土砂災害危険箇所は、役場やインターネットで確認できます。さらに、避難場所の確認や防災用品を備えておくことも忘れずに。

山形県HP：  
土砂災害危険箇所図



## 4/1日付け転入者あいさつ

事務係長 北上川下流河川事務所大崎出張所か  
阿部 奈緒子ら事務係長として着任しました。



新庄河川事務所での勤務も砂防事業に携わるのも初めてですが、立谷沢川流域の住民の皆様が安心して暮らせるように、また「さきちゃん」と同様に皆様に親しみを感じてもらえるよう頑張ります！

技術係長  
伊藤 俊介



東北地方整備局河川部から技術係長として着任しました。

新庄河川事務所勤務は2年ぶり2度目になります。立谷沢川流域は激しく荒廃しており土砂流出が著しいことなどから、土砂災害発生のポテンシャルが非常に高いと認識しております。下流域の安全・安心を確保すべく、職員一丸となって取り組んでいきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

## 4/1日付け転出者あいさつ



事務係長 上林 毅士  
酒田河川国道事務所赤川出張所へ異動となりました。平成21年10月から2年6ヶ月ですが地域の皆様には大変お世話になりました。

技術係長  
松田 信也



湯沢河川国道事務所大曲出張所へ異動となりました。

昨年度も濁沢川池ノ台地区において、深層崩壊が発生するなど砂防事業の必要性を感じました。生まれが新庄と言うことで地域の皆様と、また、お会いすることがあるかもしれませんがその際は、よろしくお願いいたします。

立谷沢川流域では、今年は現在6つの工事施工が予定されています。これまで同様に砂防事業に精一杯取り組んでいきますので、引き続き、流域住民のみなさまのご理解・ご協力、よろしくお願いいたします。

立谷沢川砂防出張所一同

## 《立谷沢川砂防出張所／砂防資料館》

〒999-6601  
東田川郡庄内町狩川字堅田20-23  
TEL 0234-56-2050  
FAX 0234-56-2081

<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>  
立谷沢川砂防出張所ページをご覧ください

～砂防資料館～  
開館日：※土日・祝日は閉館しております。  
※ご利用の際は事前にご予約ください。

